令和5年度 国語科「基礎古典」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 ABCD組
教科書	新編古典探究(東京書籍)	副教材等	「最新国語便覧」(浜島書店) 「古典文法ワークノート」(第一学習社) 最新国語便覧(浜島書店)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
4	・古典に用いられている語句に意味や用法を理解する。	【説話に親しむ】 ・展開のおもしろさを味わいながら、説話を正確に読み取る。	「小野篁、広才のこと」 (宇治拾遺物語)	1 帝の篁への疑いの原因と、その疑いを晴らしたものが、ともに篁の学才にあることを理解する。 2 言葉遊びのおもしろさがどこにあるかを読み取る。 3 「帝ほほ笑ませ給ひて、事なくてやみにけり。」となった理由を考える。	授業態度 ノート グループ内発表 クラス内発表 中間考査
5	・言葉の響きや修辞などの理解する。	・和歌を含んだ説話を読み取り、展開のおもしろさを捉える。	「大江山の歌」 (十訓抄)	1 定頼中納言の言動の内容を読み取る。 2 小式部内侍のとった行動を読み取る。 3 和歌文学、および和歌の技巧について理解する。	
6	・先人のものの考え方、感じ方に親しむ。	【随筆を読む】 ・随筆に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	「丹波に出雲といふ所あり」(徒然草)	1 主語を確認しながら、話のあらすじを読み取る。 2 聖海上人の言葉の変化に沿って、その心情を読み取る。	授業態度 ノート グループ内発表 クラス内発表 期末考査
	・作品の内容を基に、現代の自分のものの見方、感じ方を深める。		九月二十日のころ (徒然草)	1 主語に注意しながら、話のあらすじを読み取る。 2 人物の行動を整理する。 3 作者の「その人」に対する評価をまとめる。	
7	・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。	【文法事項を整理する】	用言の復習	1 昨年度「言語文化」の授業で学習した、用言の基本形・活用の種類・活用形について、復習する。	
9	・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。		助動詞の学習	1 助動詞の種類と活用の仕方、接続について学習する。	授業態度 ノート グループ内発表 クラス内発表 中間考査
10	・漢文を読むことを通して、中国の文化に触れる。	【史記を読む】 ・登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、感じたことを話し合う。	項羽と劉邦 「鴻門の会」	1 あらすじを理解して、登場人物の心情と行動について考察する。	
			「四面楚歌」		

11	<p>・漢文を読むための訓読のきまりについて理解をする。</p> <p>・先人のものの見方、感じ方について理解を深める。</p>	<p>【日記を読む】</p> <p>・他の作品との関係も踏まえながら日記を読み、作者の心情を的確に捉える。</p>	<p>「四面楚歌」</p> <p>「門出」(更級日記)</p>	<p>1本文の前半(一九一・1「騎之」まで)を音読する。</p> <p>2句法に注意して本文前半を書き下し、現代語訳する。</p> <p>3本文の後半(一九一・1「於是」以降)を音読する。</p> <p>4句法に注意して本文後半を書き下し、現代語訳する。</p> <p>1本文を読み、作者の育った東国の生活について理解する。</p> <p>2作者の物語への憧れについて整理する。</p> <p>3門出にあたっての作者の心情を読み取る。</p> <p>4作品全体の冒頭部分としての意味を考え、この日記の構造と主題を理解する。</p>	<p>授業態度 ノート グループ内発表 クラス内発表 期末考査口</p>
12	<p>・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。</p>		<p>文法事項の復習</p>	<p>1助動詞についてワークブックを用いて復習する。</p>	
1	<p>・我が国の文化や言語の時代による変遷を理解する。</p>	<p>【近世文学の世界】</p> <p>・作品の背景も踏まえながら、近世文学の内容を読み取る。</p>	<p>「蛸売りの八助」 (世間胸算用)</p>	<p>1「八助」の人物像と、商売の方法を読み取る。</p> <p>2「親仁」の言葉の比喩の意味を考え、話の展開を確認する。</p> <p>3話の結末を踏まえ、どのような教訓が込められているのか考察する。</p> <p>4本文を音読し、文章のリズムを味わう。</p>	<p>授業態度 ノート グループ内発表 クラス内発表 期末考査</p>
2	<p>・古典を通して自分のものの見方や感じ方を広げたり深めたりする。</p>	<p>【古典を読み味わう】</p>	<p>1学期から学習した古典を音読して読み味わう</p> <p>2文法事項の確認</p>	<p>1学期から学習してきた古典を音読して読み味わう。</p> <p>2現代語訳ができるか確認する。</p>	
3					

3 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。

4 評価の方法

考査成績・提出物・グループ内発表・クラス内発表・授業態度等を総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

- 1授業では、教科書・古語辞典・ノート・プリントを使います。
- 2休み時間に授業準備をして、必要なものを机に出しておきましょう。
- 3提出物は期限を守って必ず提出しましょう。
- 4「古典」が嫌いな人も、この授業を通して、日本の文化や日本人のものの見方や考え方について理解しましょう。